

町民の声内容（5月7日）

【タイトル】 国体のホッケー誘致発言にガックリ

町長の3月定例会本会議発言中に、次期「鳥取国体」の「ホッケー競技を誘致したい」との発言があったと強く記憶しています。唖然と愕然としました。先の議会ではホッケー場の建設費が議会で否決され、その上、進行中のホッケー場建設に係る測量設計が町により停止されました。（停止して無意味になった測量設計費用は誰が負担したのでしょうか。まさか、税金では無いでしょうね。）町民感覚ではホッケー場建設は白紙断念となったと理解しています。しかし、3月議会の町長は思い出したように誘致発言がありました。

鳥取県知事は国体の「隣接県等との共同開催」を考えているとの新聞報道もありました。その理由として少子高齢化等の理由が挙げられていました。もっともなことだと思います。昭和60年国体の状況下とは大変な社会状況の変化があつて当然です。

町は、2017年3月31日に「八頭町公共施設等総合管理計画の策定について」をH・Pにアップしています。この文中に「人口減少等による税収の減少や、少子高齢化の対策等に費用が増大することが、見込まれており、厳しい財政状況が続くものと・・・」と記述されています。公共施設の統合管理の姿が見えない今日、進展しているのでしょうか。今後の10年間の基本的な計画の策定で終わっているのでしょうか。

この誘致発言は町民の安心安全、財政負担等を等閑にして将来にわたる町民を犠牲にし、住民負担を押し付けた発言と思料します。個人の思いより、町民本位の福祉の増進に取り組んで頂きたい。